

5・20弾圧を粉碎し 全原発廃止に向かう力は

6・5集会の (@日比谷公会堂) 大爆発にある

6・11 反原発デモへ嵐のような行動を

6・5集会に大結集を実現しよう。ここにこそ闘う労働組合と学生運動を甦らせ、腐りきった資本主義社会を根本からひっくり返していく力がある。その力で、6・11反原発デモの爆発をかちとろう。すべての法大生の皆さんに、ともに立ち上がってほしい。

◎巨大な大衆の反乱の先頭に立とう！

政府・東電は原発事故の犠牲のすべてを子どもたちや原発周辺の労働者・農民漁民に押しつけている。政府や東電は、住民に対して住む家も仕事も何も保障しない一方で、東電に対して政府が資本注入することを決めた。それはすべて税金からまかなわれるという。さんざん「自己責任」などと言って私たちが攻撃してきた連中が、今度は自分のやったことの責任も取らず、労働者・住民への犠牲転嫁だけはしようとする。こんなふざけた話があるのか！

26日、首相の菅直人はフランスのサミットに参加し、各国の首脳に向かって「安全な原発を推進する」などと演説した。冗談ではない！「絶対安全だ」と大ウソをついてきた結果が今度の事故ではないのか。その張本人である政府が、原発を辞める気は毛頭ない、どんなことをし

ても続けると宣言している。人間の命と原発のどちらが大切なのか！

もはや黙っているときは終わった。「もうこんなことは許さない」という当たり前の怒りが爆発している。とりわけ、すべてを奪われた福島は怒りは根底的だ。母親たちは、「国による殺人を許すな」「20ミリシーベルトの基準撤回！」「子どもの命を守れ！」を掲げて文部科学省に押し寄せた。

この福島現地の怒りと結びつき、巨大な大衆行動の先頭に立って立ち上がったのが三里塚農民であり、法政大学文化連盟委員長・斎藤君だ。それに対して国家権力は50名逮捕という歴史的な5・20弾圧をしかけてきた。しかし、彼らはそんなものに全く屈していない。何ものにも押しとどめられない巨大な反乱が開始されたのだ。彼らの決起に続こう！

全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

◎フクシマの怒りと結びつき 労働組合・学生自治会を甦らせる

5・20弾圧を打ち破り、すべての原発をなくす道はどこにあるのか。それは、6・5集会の大爆発にこそあるということだ。6・5集会は一つに、被災地の怒りと結びつき、労働運動・学生運動を甦らせるためにある。それは、「どうすれば原発を廃絶できるのか」という問いへの回答でもある。

3・11大震災と原発事故は、「天災」ではない。まぎれもなく、国家と資本による犯罪だ。資本の利益最大化のために地方を切り捨て、労働者の安全などどうなっても良いと安全を切り捨ててきた新自由主義とその政治こそが、地震と津波の被害をここまで広げた。とくに、原発事故は歴代の政府と資本家が繰り返してきた意図的で犯罪的な行為の結果以外の何者でもない。

そもそも、地震や原発事故が起きる前から、この国の支配者たちは、資本の利潤追求を一切に優先させ、青年・学生にすべての矛盾を押しつけてきた。2人に1人が非正規雇用に叩き込まれ、そこから抜け出すことができない社会、教育も医療も金儲けの対象となり、儲からなければ切り捨てられる社会、大学が莫大な学費を学生から吸い上げ、借金を背負わすような社会が強制されてきたのだ。そのすべてが新自由主義という攻撃であり、それは労働組合や学生自治会などの団結体を破壊することと一体で、国家・資本・大学ぐるみでおし進められてきた。それが突き出したのが、3・11の現実だ。

被災地からの根底的な怒りこそ、新自由主義と非和解の怒りであり、そこに労働者・学生自身の団結体を甦らせる力が宿っている。この被災地の怒りと、全国の労働者・学生の怒りが一つになることに、現体制を倒して社会を変革する展望がある。6・5集会で被災地の怒りと結びつこう。労働組合・学生自治会を甦らせよう。

◎6・5と6・11反原発デモは一体だ

6・5集会は二つに、6・11に日本中で呼びかけられている歴史的な反原発100万人デモの爆発と一体だ。労働組合が先頭に立ったときに、反原発闘争は農民漁民をはじめあらゆる人々の怒りを結集し、社会の根底的な変革に向かって闘い抜かれていく。エジプト革命が示したのは、労働組合が主導して全人民が立ち上がったときにどれほどの巨大な力があるかということだ。6・5集会の爆発を実現したときに、すべての原発をなくす展望をつかむことができるのだ。

◎「震災」「復興」を口実にした 大失業攻撃に一大反撃を開始する

6・5集会は三つに、「震災」に乗じた大失業一賃下げ一増税攻撃に立ち向かう反撃の突破口だ。菅政権は、「『震災復興』を名目にすれば抵抗する力を奪える」とあけすけに語り、公務員賃金の1割削減を強行した。復興構想会議は増税を打ち出し、大失業や解雇、賃下げがまかりとおっている。こんなやり方を許したら、全労働者・学生からあらゆる権利と尊厳がはぎ取られ、殺されてしまう。「復興」と称する新自由主義の極限化と対決する運動を6・5集会で作り出そう。

◎新自由主義攻撃に24年間 立ち向かってきた国鉄闘争を先頭に

6・5集会はよっつに、国鉄闘争が先頭に立ち、腐った労働運動の現状を打破して闘う労働運動再生の新たなスタートを切る集会だ。何よりも、新自由主義攻撃に24年間不屈に立ち向かってきた国鉄1047名解雇撤回闘争の勝利をかちとる集会だ。国鉄闘争は、新自由主義の突破口であった87年の国鉄分割・民営化に絶対反対で立ち向かい、勝利してきたものすごい労働運動だ。こんなのは世界にない。学生の未来は労働者の未来と一つだ。6・5集会に学生の未来をかけて結集しよう！

《行動方針》

- (1) クラス、サークルから、キャンパスで原発反対署名を集めよう！
- (2) 反原発★反失業 吉祥寺デモ
5／28(土)18:00集合 18:30出発 井の頭公園野外ステージ周辺
- (3) 国鉄闘争全国運動6・5大集会
6／5(日)午後1時(正午開場) 日比谷野外音楽堂
- (4) 6・11反原発全国一斉デモ 方針がわかり次第、ビラでお伝えしていきます。